

阿寒病院は病院として存続させたい」と市長が答弁

12月市議会一般質問



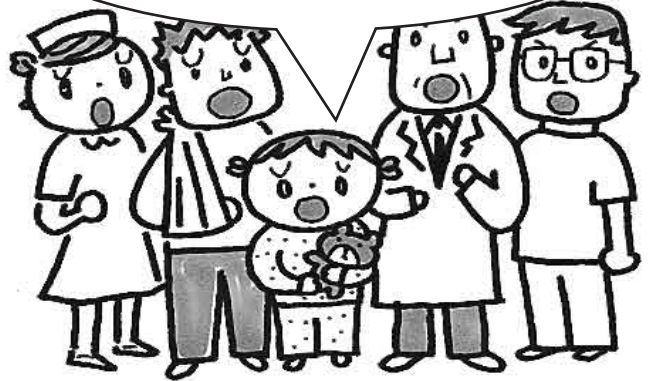
全道の自治体病院のうち、三八病院を縮小する素案を発表した北海道。阿寒病院は診療所への格下げが提案されました。村上議員は、市長に対して「病院として存続させることが合併の約束。市長として、最大の努力を」と質問。伊東市長は、「道の計画は、地域性を考慮していない面がある。現体制を基本に地域病院の体制づくりをしたい」と答弁、診療所化せず、病院機能を守りたいと述べました。

共産党村上かずしげ議員

阿寒町行政センター長は、村上議員の質問に答え、院長も病院存続を願っていることを明らかにし、企画財政部長は、診療所に格下げになると四千八百万円の交付税が減らされる（五年間は経過措置があり、三千百万円の減）ことを明らかにしました。医師不足を逆手にとって、地域医療を切り捨てるようなやり方は許されません。



現体制が必要。きびしい状況を全員一丸となって、地域の医療要望にこたえていきたいと院長先生も言っています。



舌辛川の治水対策についても質問

舌辛川に土砂がたまり、河道が狭くなっています



十三年度から、護岸などの新たな治水工事が始まった舌辛川。しかし、新しい護岸も土砂に埋まるなど、心配です。土砂を取り除き、壊れた護岸を補修するよう求めました。



村上かずしげ通信 07年 12月18日
発行 村上和繁 66-1808